

## 印刷技術懇談会 50 周年記念講演会 (2026 年 5 月 30 日)

印刷博物館 企画展 見学

## 『名著誕生展 ヴァチカン教皇庁図書館Ⅲ+』

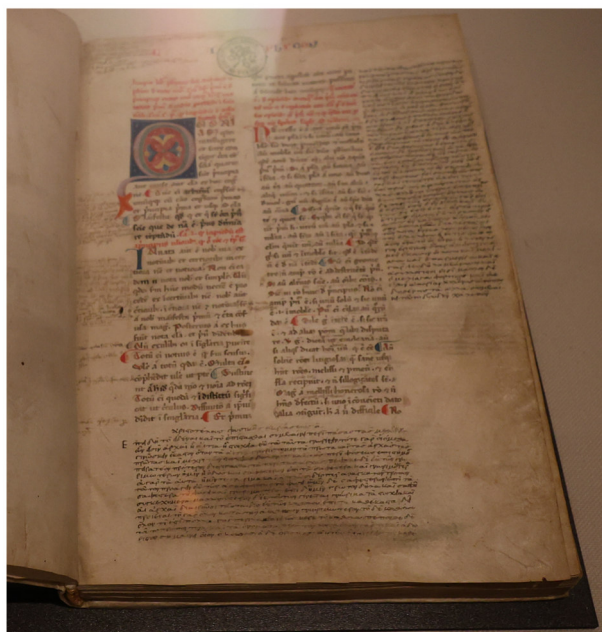
- 日時 : 5 月 30 日 (土) 14:00~15:00
- 場所 : 印刷博物館 (東京都文京区水道 1-3-3)
- 展示内容

当日の記念講演会全体は、午後いっぱいスケジュールで組み立てられており、その中ほどの約 1 時間がこの企画展「名著誕生展 ヴァチカン教皇庁図書館Ⅲ+」の見学に割り当てられた。時間が限られていたために、駆け足みでの見学にならざるを得なかったが、照明が絞込まれた展示会場の中で、一連の名著を眺めながら、様々に思いを馳せることができた貴重な時間だった。

さて、当企画展の「図録」によれば、展示された書籍は計 66 点で、そのうちヴァチカン教皇庁図書館所蔵が 8 点、明星大学の所蔵図書が 4 点、残りが印刷博物館等の所蔵とあった。それにしても印刷博物館が極めて多数の名著を所蔵していることにも驚いてしまう。

ヴァチカン教皇庁図書館からはるばるこの展示会のために運ばれた名著は以下である。

- ① プラトン著作集 (ソクラテスの弁明を含む) : プラトン。マルシリオ・フィッチーノ (1484 年)
- ② 「自然誌及び天体論」 : アリストテレス (13 世紀末から 14 世紀初)
- ③ 「物の本質について」 : ルクレティウス (1483 年)
- ④ 「神の国」 : アウグスティヌス (1467 年)
- ⑤ 「哲学のなぐさめ」 : ポエティウス (1473 年以前)
- ⑥ 「禁書目録」 : (1619 年)
- ⑦ 「純粹理性批判」 : イマヌエル・カント (1790 年)
- ⑧ 「ツァラトゥストラはかく語りき」 : フリードリッヒ・ニーチェ (1893)



「自然誌及び天体論」 : アリストテレス  
(13 世紀末から 14 世紀初) (ヴァチカン  
教皇庁図書館所蔵)

展示会の構成は、以下の 3 つのパートによって組み立てられていた。

- 第 1 部 はじまりの名著 (対話からテキストへ)
- 第 2 部 近代の名著 (技術・科学・哲学の融合)
- 第 3 部 これも名著? ここにも名著!

上記の第 1 部「はじまりの名著」に関して、図録の中に記された中西保仁氏 (印刷博物館学芸企画室長) の同展示に関する解題の文章が興味深い。

「印刷文化で歴史的名著をひもとくと、どのような展示になるだろう」というちょっとした好奇心から展示会構想ははじまった」と記されている。(図録 P.171)

さらに、「第 1 部 はじまりの名著」のパートを、「名著の萌芽を紹介するコーナーとして位置付け (中略)、ソクラテス、孔子、老子、ブッダ (釈迦) — 紀元前 6~5 世紀、世界中で偉人の言説から知が生まれた」と。

当時は「議論と対話」によって人間とは何かを問い、それらが弟子によって書写されて、やがて写本や書簡の形でテキストとして定着して行ったという。ソクラテスもブッダも何も書き記さなかった。

「対話」 ⇒ 「書き起こし」(弟子による) ⇒ 「写本」の時代が長く続く

そして 15 世紀半ばになって、グーテンベルグが活版印刷術を発明し、42 行聖書が刊行された。それまでの「知識」の窮屈な流れを解放し、一冊の本を作るのと同じ時間で、数百冊の本を作るという着想が実現したのである。中西氏は、その時代の雰囲気「活版印刷術誕生の興奮」と表現している。(同 P.172)

印刷技術懇談会 50 周年記念講演会の参加者は、それぞれの興味に応じて名著の前で足を止め、しばしそれを眺めたであろう。

ルネ・デカルトの「方法叙説」(印刷博物館所蔵)かも知れないし、ガリレオ・ガリレイの「天文対話」(明星大学所蔵)かも知れない。または、アイザック・ニュートンの「プリンキピア」(印刷博物館所蔵)かも知れないし、チャールス・ダーウィンの「種の起源」(印刷博物館所蔵)かも知れない。さらには、イマヌエル・カントの「純粹理性批判」(ヴァチカン教皇庁図書館所蔵)かも知れないし、ジグムント・フロイトの「夢判断」(印刷博物館所蔵)だったかも知れない。



展示風景

これらの「名著」が生み出された時代は、インターネットも AI もない時代である。電気の照明すらなく燭台の灯りだった場合もあるだろう。中西氏は解題の最後の方に(同 P.180、P.181)、「名著の今日的な意味」と「これからの名著」という小見出しをたてて触れている。示唆に富む小見出しである。

この展示会を見て回った我々も、歴史的名著に関心を持ちつつ、この時代において、これからの長い時間に耐え、大きな影響を残す名著とは、どんなものか考えてみるのも良いであろう。



過去 2 回のヴァチカン教皇庁図書館展について

- (左) 第 1 回目 2002 年開催 「書物の誕生」—写本から印刷へ
- (右) 第 2 回目 2015 年開催 「書物が開くルネサンス」